

成年後見制度の相談受付や利用の支援実施 おおすみ地域成年後見センター開設

4月20日、肝付町で認知症の高齢者や知的障害者らを支援する「おおすみ地域成年後見センター」の開所式が行われました。成年後見制度は認知症や知的障害などで判断力が衰えた人に代わり、契約や財産の管理をする制度。今後は相談受付や利用支援を行い、町と連携して住みやすい地域づくりを目指していきます。



錦江、肝付、南大隅、大崎、東串良の5町が共同で設置。センターの受付時間は平日の午前9時～午後5時、☎0994-68-8188

田植えから収穫まで行い特産品の開発を 鹿児島純心女子短期大学と田植え

猪鹿倉地区で4月11日に町と観光や産業振興、食育など幅広い分野で連携を取っている鹿児島純心女子短期大学との田植えが行われました。平成26年より地域農家と共同で行っている米作りで、今年は約30名が参加。今後は収穫した米を使用した商品を開発し、町の特産品として販売を行っていく予定です。



苦戦しながらも田植えを終えた鹿児島純心女子短期大学生。今後は田んぼの除草などの作業も行い、収穫は8月頃となる見込みです。

新体制となった消防団では部長に7名、班長に6名が新たに昇任。地元の安全安心のため活動して下さる消防団員を募集しています。



令和4年度消防団の新体制がスタート 錦江町消防団辞令交付式を開催

4月7日に消防団辞令交付式が役場本庁で行われ、消防団員及び南部消防署長など17名が参加しました。新たに団長に就任された有村団長をはじめ、副分団長以上に昇格する11名に辞令を交付。消防団一丸となり、市民が安心して暮らせるよう、地域の安心・安全に努めてまいります。令和4年4月1日現在の団員数は209名。

自分では気付かない運転中の癖や弱点。安全運転を長く続けるためには自身の運転を振り返り、納得して運転することが大切です。



運転時の癖を知り安全運転につなげる センサーで運転技術の自動評価

錦江警察署で運転技能自動評価システムを使用した高齢者講習が4月8日に行われ、なんぐうシルバードライバーズクラブの2名が参加しました。帽子や右足にセンサーを付け運転し、左右確認や道路形態による速度などを点数化して評価。参加した寺崎紀男さんは「癖が無意識に出ていた。講習を広めたい」と話しました。

石碑前で安全祈願や高値取引を願う関係者。錦江町茶業振興会では安心安全でクリーンな茶づくりを徹底しており、昨年6月にはJGAP(日本版農業生産工程管理)の認証も取得。



高値取引と作業の安全を願う 田代茶業振興会が献茶会

4月10日に田代茶業振興会が茶業振興や作業の安全を願う献茶祭を行い、生産者や茶工場の代表者など13名が参加。今年の出来も良好で220トンの生産量を見込んでおり、前日に収穫された新茶が供えられました。田代茶業振興会の松ノ下広和会長は、「霜害もなく順調に育ち高値に期待している。安全に作業を行っていききたい」と話しました。

大根占・田代畜産共進会に56頭出品 生産技術を競い産地化を目指す

4月8日に大根占畜産共進会、13日に田代畜産共進会が行われ肝属地区共進会への出品牛16頭が決まりました。畜産技術員による厳正な審査の結果、最高賞のグランドチャンピオンに牧原功弥さんのさくら号、貫見広幸さんのかなを号がそれぞれ選ばれました。肝属地区共進会は5月16日に開催されます。

●肝属地区畜産共進会への出品牛(錦江町から16頭出品)
 大根占地区(5頭) ▶へいせい29号/水流豊文、えま1号/原口勉、さくら号/牧原功弥、ちえ7号/椿雅之、ふわみ号/宿原伸吾
 田代地区(11頭) ▶れんげ号/瀬戸口哲郎、ななこ号/鶴園正行、やすかめ号/山下博幸、よしおう号/川路譲二、せつこの5号/西元裕樹、いちご号/近川瑞穂、かなを号/貫見広幸、ともよ号/猪鹿倉悟、うめの号/瀬戸口哲郎、ふくはな3号/福永一生、やすこ80388号/福永一生 (敬称略)



特別賞受賞 4/8 大根占畜産共進会 27頭出品



写真左から▶町長賞(えま1号/原口勉)、グランドチャンピオン(さくら号/牧原功弥)、農協長賞(たかこ31号/今熊悦郎)

特別賞受賞 4/13 田代畜産共進会 29頭出品



写真左から▶町長賞(つとむの612号/西元裕樹)、グランドチャンピオン(かなを号/貫見広幸)、農協長賞(よもぎ号/宮園清一郎)